

【ご報告】「SM 物流研究会」の取り組みと今後の活動について

2024年度の「SM 物流研究会」では、4つの分科会（「パレット納品」、「共同配送」、「生鮮物流」、「チルド物流」）の取り組み推進を行った。また、2024年末には「関西 SM 物流研究会」を発足させ、関西エリアの物流効率化を図っている。本日は、新規参加企業のご挨拶、ならびに2024年度の取り組み状況と2025年度の取り組み方針について報告する。

1. 2024年度の取り組み状況

- (1) 荷待ち・荷役作業等時間の削減
- (2) 4つの分科会（「パレット納品の拡大」、「共同配送」、「生鮮物流」、「チルド物流」）の取り組みを推進
- (3) 関西エリアの物流情報共有、効率化を図るため、「関西 SM 物流研究会」を発足

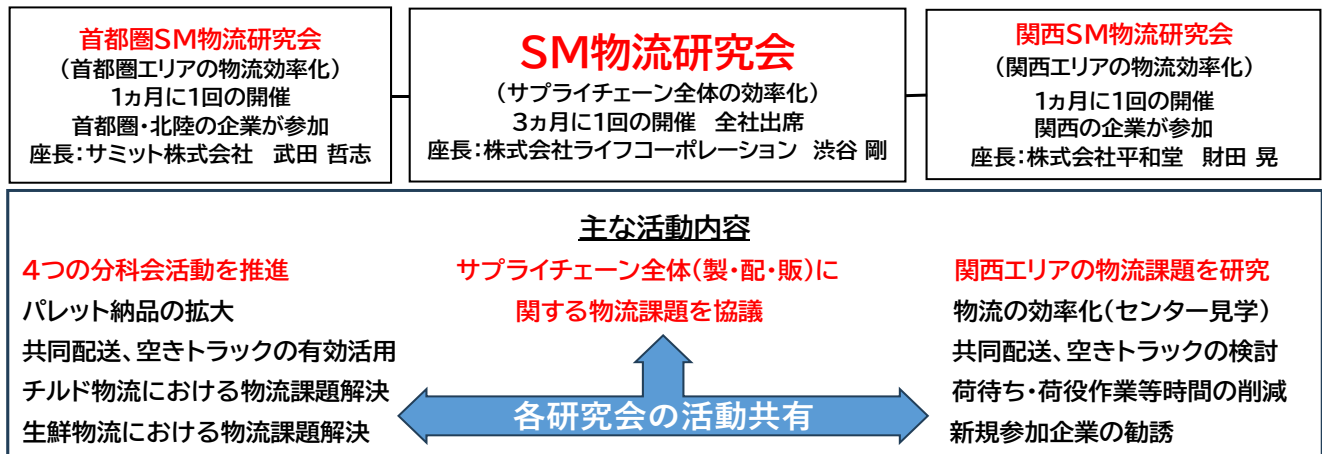
分科会	企業	取り組み内容	今後の取り組み
パレット納品の拡大	マルエツ ライフ 原信・ナルス	即席麺、菓子メーカーとの意見交換において各社物流センターの荷役作業実態（バラ積み納品による荷役作業の長時間化）を提示し、危機感を共有。また、メーカーから「パレット納品に向けた卸、小売への要望事項」を提示してもらい、一部メーカーで特売等物量が多い日のパレット納品化までは実現。	分科会 3社でメーカー個社とパレット納品化への交渉を進める。 ※研究会参加企業からパレット納品化の要望が高い（荷役作業が長時間化）メーカーと重点的に交渉。
共同配送 空きトラックの有効活用	カスミ 西友 ベイシア	現在、加工肉メーカーの配送ルート、配車車両の積載余力に着目した共配可能性について、発着荷主と運送事業者が連携し仮説案を検証中。最初の成功事例の実現に向けて、製・配・販の三層連携の知見を積み上げている。	各社の共通採用商品に着目した共配可能性も検討する。情報連携システムの研究もスタートする。
生鮮物流における 物流課題の解決	サミット 東急ストア イトーヨーカ堂	サプライチェーンが複雑な青果をテーマに「市場流通ビジョンを考える会」と「卸売市場・SM 物流研究会」を発足し、勉強会を実施。 市場流通の実態整理・共通理解と課題の洗い出しに組み、それぞれの課題の根本原因と解決策について協議。 協議を進める中で重要性が強く認識されつつある、LT 延長をサミット、東急ストアで開始し、効果を定量、定性の両面から検証中。 「市場流通ビジョンを考える会」（代表幹事 磯村信夫）…2008年に青果、花き、水産市場卸や仲卸等により設立された組織。市場流通の改善方策や長期ビジョンの協議・検討を通じて、卸売市場の機能強化や国民生活と産地の発展・向上に寄与することを目的としている。（現在 93 企業が加盟）	引き続き青果を取り上げ、24年度の取り組み継続に加え、会議に参加していない全農や仲卸の参加も検討し、範囲を広げ課題解決に繋がる基準づくりに取り組む。水産、畜産についても SM 物流研究会参加企業や取引先の状況を随時確認し、対応を検討。

チルド物流における 物流課題の解決	ヤオコー いなげや エコスグループ	運送事業者様や卸様のヒヤリング会を実施。 各チルドセンターでの窓口、軒先情報の整備。 チルド物流研究会との対話。	チルド物流研究会との課題共有と対応。チルド版 FSPの作成。
----------------------	-------------------------	--	--------------------------------

2. 2025 年度 取り組み方針

- (1) 荷待ち・荷役作業等時間の削減、ならびに「改正物流効率化法」の施行に合わせた対応
- (2) 4つの分科会(「パレット納品の拡大」、「共同配送」、「生鮮物流」、「チルド物流」)の取り組みを継続して推進
- (3) 関西エリアでの物流課題を研究し、課題解決に取り組む

3. 組織の全体図



【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会 SM 物流研究会 事務局

TEL: 03-5203-1770 FAX: 03-5203-1771 E-mail: info@jsa-net.gr.jp

以上